



# 『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート

第51号(2009年3月2日)



## サウジアラビアの旅客者数

サウジアラビアの航空会社である、Saudi Arabian Airlinesは、2008年に同社を利用した人数が1,770万人にのぼると発表しました。このうち、国際線の利用者数は780万人、国内線利用者数は990万人です。これに伴い、便数は前年比1,543便増加し、139,640便となりました。

2008年に成田空港を利用した人数は前年比で8%減少し、約3,353万人とのことです。景気減速の中でもサウジアラビアの航空機利用者数は堅調に推移しているということがわかります。

このような中、同社の **運行状況の正確さ** に注目が集まっています。利用者数と便数の増加により、空港が混雑し、運行スケジュールが厳しくなる中、2008年に時間通り発着できた便数の割合は88.29%と、83.71%であった前年と比べて4.58%改善しています。

今後ビジネス利用をはじめ、海外からの利用者を誘致するためにも、同社のさらなるサービス向上に期待が集まっています。

(マグニチュートー8.2)



出所 : Gulf News



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



# 『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



## バーレーンでロンドンタクシーを導入

バーレーンではこの度、英国スタイルのタクシー「ロンドンタクシー」を導入することになりました。ロンドンタクシーは英国のロンドンタクシーインターナショナル(LTI)社が生産している、天井が高く独特の形状をしたタクシーであり、旧来は黒塗りのものしかなかったため通称「ブラックキャブ」とも呼ばれています。

ロンドンタクシーを導入するにあたり、バーレーンでは経済開発委員会(EDB)やバーレーン開発銀行の協力のもと、新たなタクシー会社アラビアンタクシーカンパニー(ATC)社が設立されました。車両は本場英国のLTI社から輸入する予定です。全ての車両には13インチの液晶モニターが搭載されており、車椅子での乗り降りも可能な作りとなっています。

今後ATC社では、この英国直輸入の英国情緒あふれる車両を使用して、バーレーンで一流のサービスを提供するタクシー会社を目指していく方針です。

(ミドル・イーストウッド)



出所:アップル



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



# 『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



## 中東のタブーシリーズ⑦ <アラブのIBM>

中東地域は、もともとは時間にルーズなことで知られています。最近では海外から多くのビジネスマンが来ているため、欧米流のビジネススタイルが浸透していますが、一般企業や商店では今でも昔ながらのゆったりとしたアラブ時間が流れているようです。

その時間感覚を表した言葉として、“アラブのIBM”というものがあります。これは、3つのアラビア語の頭文字をとって作られた言葉です。

- I : (インシャーアッラー) もし神が望むならば、神のみぞ知る
- B : (ボックラ) 明日
- M : (マレッシュ) 気に病むことはない、問題ない



この3つの言葉は主に、期日を伴った約束をする時に使われます。

そもそもイスラム教では、約束とは **一種の未来予想** であり、神の領分であると考えられています。従って【インシャーアッラー】には、将来は神によって定められているのだから、能力の限られた人間は神に導かれるまま従おう、という宗教的な意味が込められているのです。

【ボックラ】とは、明日という意味ですが、いつの日か、という意味も込められています。従って、次の日というわけではなく、長期間待たされることもあるようです。

最後に【マレッシュ】。「済んだことは仕方がない」、「くよくよ悩まないで」、と伝えるためにこの言葉を使うのは、なんと遅刻した方。神の定めによって遅れたのだから、気にしないで、といった感じで「ごめんね(アーフィフ)」の代わりに使われているのだそうです。



遅刻された場合、「遅れました。済んだことは仕方がないよ。」といわれたら少し驚いてしまいそうですね。でも、このような宗教的背景があるということを知っていれば、文化の違いとして楽しめるかもしれません。

(マグニチュートー8.2)

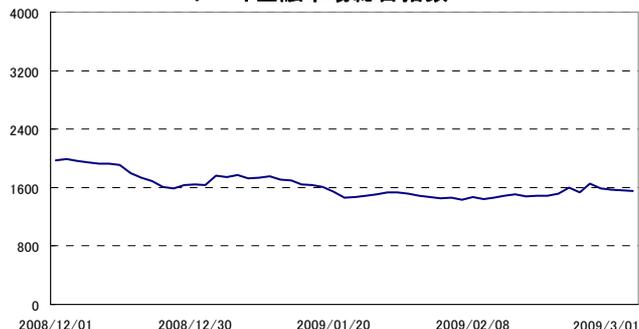


本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。

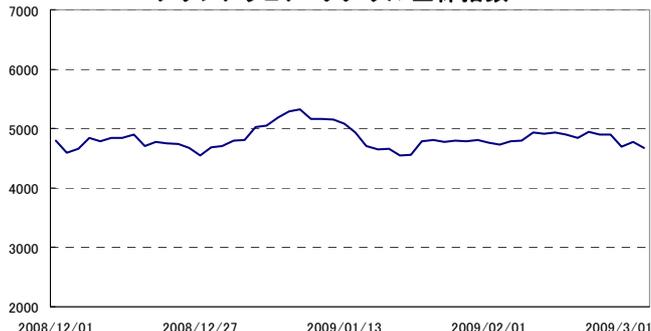


【ご参考】 中東(GCC)地域の株価推移  
(各市場の直近3ヶ月)

ドバイ金融市場総合指数



サウジアラビア タダウル全株指数



クウェート証券取引所指数



アブダビ証券取引所株価指数



バーレーン全株指数



カタール DSM指数



オマーン マスカットMSM30指数



出所:ブルームバーグ



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。